

# 2019(平成31・令和元)年度 学年経営計画

学年	第2学年
学 年 目 標	①自己の特性をさらにのばし、学校生活を活気ある充実したものにする。 ②思いやり、助け合いの心を育成し、集団の仲間意識を高める。 ③基本的生活習慣（けじめある生活）を確立する。 ④基礎学力の充実、及び自ら学習に取り組む習慣を育成する。 ⑤自らきちんと考え、時間・場面・目的にあった行動ができる力を養う。
具 体 的 実 現 内 容 に 向 け た	(1)「学年は1クラス」の精神で、共通理解を深め協力的に実践する。 (2) 生徒・保護者・教師相互の信頼関係を深める。 (3) 集団生活の活動の場を通じてリーダーの育成を図る。 (4) 基本的生活習慣の確立、学習・授業に対する前向きな姿勢を養う。 (5) 正当な意見・考えや正義が通り、主体的に全体的に正しい方向へ進んでいける集団を育成する。
目 標 実 現 に 向 け た 年 間 計 画 概 要	4月 ・朝・帰り・そうじの時間、チャイム着席など、時間をきちんと守らせる。 ・常に学年集団としての取り組みを意識させる。 5月 ・クラスの独自性は大切にしながらもあらゆる問題解決、その他取り組みには学年全体で当たる。（学年集会、互いのチェック） 6月 ・挨拶、言葉遣い、聞く態度などを自分で考えて行動できるように指導する。 ・9月を目標に生徒会のリーダーの育成に取り組む。 7月 ・面談、保護者会の機会をもち、校内の様子や生徒個人の状況を伝え、具体的な学習・生活状況について学校・家庭で共通理解をはかり、学力向上を目指す。 9月 ・自他の持ち物の区別、持ち物の管理、提出物の徹底。 10月 ・学級委員、班長、各実行委員を重視し、責任を持って取り組ませていく。 11月 ・授業態度、及び家庭学習についても常に助言を与え、意識させる。 12月 ・学年だよりを通じて校内の状況・取り組みの様子などを伝え相互理解のもとに対応する。 1月 ・いじめ等、生徒間のトラブルは、早期につかめるように目を配り、学年集団に解決能力をつけさせていく。…仲間を見捨てない、正しいことが指示される、違う立場を想像できる。 2・3月 ・2月のスキー移動教室の取り組みでその成果を確認し、修学旅行につなげ進級に向けての意識を高める。
学年主任	古川 裕子